

■ 研修項目

子ども貧困対策プロジェクト

「家でも学校でもない第3の居場所の設置に向けて」

- ・ 研修団体及び講師氏名

日本財団

- ・ 研修日

平成28年9月1日（木）午後1時30分～午後3時

【研修目的】

日本財団が「子どもの貧困対策プロジェクト」事業を立ち上げ、向こう5年間で全国の100ヶ所の自治体を選定する方針を打ち出し、自治体向けの説明会が全国4ヶ所の会場で行われることとなり、大阪会場に参加した。

【研修内容】

日本財団は、深刻化する子どもの貧困問題に取り組むためのモデル事業として、財団独自で50億円の予算を用意し、5年間で100ヶ所の自治体を選定し、「家でも学校でもない子どもの第3の居場所」を整備する方針を打ち出し、その第1号として埼玉県の戸田市を選定していると説明された。

また、この事業をより効果的に実施するためには、子どもに関する情報やデータの提供、設置場所の選定、連携体制の構築など自治体の協力なしでは成り立たない事業であるとの説明がされた。

【質疑応答】

特になし

【呉市での展開の可能性】

質疑応答では、幾つかの自治体の担当者が質問をし、関心の高さを示していた。

福岡会場の説明会では、呉市の職員も参加し、子どもの貧困問題の取り組みについて研修されたようである。この事業を参考にいただき、呉市の子どもの貧困対策に反映していただきたい。